2.なぜ、大量のバリウムが肺に流入（誤嚥？）したのか

市と事業団の見解

a. **受診者は過去に誤嚥性肺炎で入院したにも拘わらず、問診時に今まで誤嚥は無かったと答えられた。**誤嚥があったと答えていたらバリウムではなく胃カメラを勧めた。

b. バリウムを飲むとき**介助員**が付いていたが**「飲む速度は遅かったが、むせる等の症状はなかった」ため気が付かなかった**

家族の疑問・疑念

a. 毎年健康診断でバリウムでの胃がん検診を受けていたが異常はなかった。

b. 今まで**日常生活で誤嚥は一度もなかった。**事業団の報告書によると事故直後、過去に誤嚥性肺炎で入院したと本人が言ったと記載されているが、**インフルエンザA型による肺炎で入院したことはあるが、誤嚥性肺炎ではなかった。**
※当時年末だったので西保健所で診察を受け、インフルエンザで肺炎を起こしていると担当医から説明を受けた。このことを当時のカルテを取寄せて確認していただきたいと市の担当者に依頼したが聞き入れてもらえなかった。

c.「誤嚥性肺炎で入院したことがある」と本人が答えたと報告書にあるが、**「誤嚥」**という言葉はここ10年前頃から使われだした専門用語で ご主人も初めて耳にする言葉だった。 **本当に本人が知っていて言ったのかと疑問**を持つ。

d. **「バリウムを飲む際、職員の介入があった」との本人からの証言**を市の担当者に伝えたが、本人への聞き取りも無かった。